

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 群馬

日時

2021年10月9日(土) 13:00~17:00

場所

ヤマダグリーンドーム前橋1階102会議室
(〒371-0035 群馬県前橋市岩神町1-2-1)

内容

【第一部(全体会) 13:00~15:00】

- 主催者挨拶 柳瀬 和夫(公益財団法人あすのば参与)
- 共催者挨拶 須藤 賢一(高崎健康福祉大学学長)
- 「群馬県子どもの生活実態調査」報告(予定)
- パネルディスカッション

「それぞれの立場から見た子どもの貧困」

【コーディネーター】

- ・石坂 公俊(高崎健康福祉大学社会福祉学科 准教授)

【パネリスト】

- ・白田 麻耶(まえばし生活自立相談センター 所長)
 - ・本堂 晴生(NPO法人Gコミュニティ 代表理事)
 - ・安楽岡 優子(フリースクールまなびバ! シリウス 代表)
- [順不同・敬称略]

参加費
無料

【第二部(意見交換会) 15:20~17:00】

「支援者・学生・学校関係者・自治体担当他の意見交換タイム」

申込方法

- ・あすのばウェブサイト
<https://www.usnova.org>
(右のQRコードからも入れます)
- ・電話、メール
- ・FAX(裏面の参加申込書)



お問い合わせ

公益財団法人あすのば

〒107-0052

東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F

電話 : 03-6277-8199

FAX : 03-6277-8519

メール : info@usnova.org

公益財団法人 USNOVA
あすのば
子どもの貧困対策センター

【主催】公益財団法人あすのば

【共催】高崎健康福祉大学

【後援】内閣府・群馬県・群馬県教育委員会・群馬県社会福祉協議会・前橋市・前橋市教育委員会・前橋市社会福祉協議会・安中市・伊勢崎市・板倉町・上野村・邑楽町・大泉町・太田市・片品村・川場村・神流町・甘楽町・桐生市・草津町・渋川市・下仁田町・昭和村・榛東村・高崎市・高山村・館林市・玉村町・千代田町・嬬恋村・富岡市・中之条町・長野原町・南牧村・沼田市・東吾妻町・藤岡市・みどり市・みなかみ町・明和町・吉岡町

【助成】公益財団法人キリン福祉財団



FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。

E-mail info@usnova.org

WEB www.usnova.org

「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 群馬」参加申込書

日時：2021年10月9日(土) 13時～17時(12時30分から受付開始)

会場：ヤマダグリーンドーム前橋1階102会議室(住所：前橋市岩神町1-2-1)

参加方法：会場に参加 or オンラインで参加(どちらか○印を)

※オンライン参加は、前日までにzoomのIDとパスコードをメール致します

お名前

お住いの市町村

電話番号

FAX(あれば)

E-mail(※オンライン参加は必須)

公益財団法人あすのば

子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立・誕生しました。2016年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのば」として、子どもの貧困対策推進に向けてさらなる歩みを進めています。

あすのばは、「明日の場」であり、「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が他人事ではなく自分事に感じてほしいという「私たち」でもあります。みんながつどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送って欲しいという願いも込めています。

大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声を大切に作る運営に努めています。

事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面での子どもたちへの直接支援、の3本柱を担っています。

全国キャラバンは、2016年度沖縄県を皮切りに、兵庫県・高知県・長野県・栃木県・山形県で開催し、650人が参加。2017年度は、千葉県・富山県・熊本県・京都府・山口県・香川県・岐阜県・長崎県・福島県で開催し、879人が参加。2018年度は、岩手県・神奈川県・石川県・奈良県・三重県・静岡県・山梨県・広島県・東京都・佐賀県で開催し、932人が参加。2019年度は、新潟県・福井県・青森県・宮崎県・和歌山県・大分県・愛媛県で開催し、738人が参加。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、茨城県と滋賀県で開催し、225人が参加。2015年度に開催した交流会を含め、これまでに40都道府県で、合計3,774人が参加いただきました。